



社会福祉

法

人

豊中市社会福祉協議会

ボランティアセンターだより

2006年(平成18年)10月15日

第44号

発行 社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会

ボランティアセンターだより編集委員会

〒561-0881 豊中市中桜塚 2-28-7 Tel. (6848) 1000

URL: <http://www3.ocn.ne.jp/~tcpvc>E-mail: tcpvc@gold.ocn.ne.jp

ボランティアグループ
あれこれ

高齢者介護支援グループ 「ステッキ」 編



今回は、6月21日に行われたボランティアはじめま専科の様子を紹介していただきました。

高齢者や高齢者を介護する家族の「杖」になれたらと名付けられた高齢者介護グループ「ステッキ」は、長い間高齢者とかかわってきました。介護保険が始まってからは、件数は減りましたが制度の隙間を補うような対応に応じてきました。

「ぷらっと」で昨年、今年と“ボランティアはじめま専科”で改正された介護保険について勉強会を行いました。豊中市の高齢介護課に講師を依頼して、できるだけ具体的に Q&A 方式で行いました。予定時間をオーバーする程熱心に直面している問題を質問し、アドバイスをいただきました。

私たち自身が介護する者介護される者として介護保険をより良い制度になるよう、これからも勉強していきたいと思います。そして、活動に生かされることで、高齢者の笑顔が広がっていったら、いいなと願いながら。

☺活動に興味のある方は・・・

★定例会

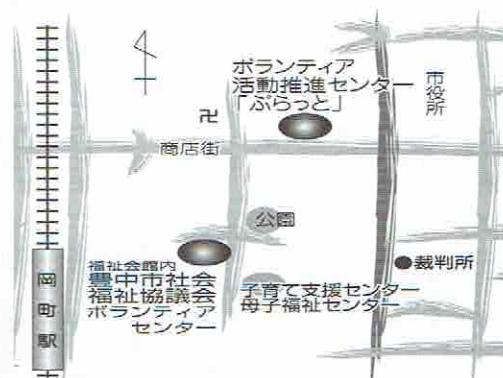
毎月第3水曜日 13:30～15:30

★場所

ボランティア活動推進センター「ぷらっと」
豊中市中桜塚2-19-2

★お問い合わせ

☎06-6848-1000



豊中市集中豪雨



水浸しの室内から荷物を運び出しています

8月22日豊中市内では、1時間に110ミリという記録的な集中豪雨に見舞われ、床上・床下浸水や道路冠水など、大きな被害が発生しました。この災害の翌日、1人暮らしの高齢者の方から、「床上浸水のため畳や家財道具が水に浸かりましたが、1人では後片付けが出来ません。」との電話がボランティアセンターに入りました。登録ボランティアの3名の方にご協力いただき、たんすの移動や畳の搬出を行いました。今回の水害では、2件のボランティア派遣依頼がありましたが、大規模な災害が発生した場合、特に男性や若年層のボランティアの力がたくさん必要だと感じました。



夏のボランティア講座特集

♪ボランティアスクール入門講座

今年も6月6日～20日の毎週火曜日、3回にわたり、市立福祉会館でボランティア活動に興味のある方や、これから始めたいという方を対象に講座を実施しました。

1日目は「ボランティアを始めてみませんか？」をテーマに講演会を開催し、2日目は車いす・アイマスク・インスタントシニア体験学習を行いました。最終日の3日目は、実際にボランティア活動をしている登録ボランティア、校区福祉委員会の方々よりボランティア活動の体験談をうかがいました。



実際に体験する前に…事前学習も大切です。

☆参加者の声

ボランティアをやっている方々はとても元気でイキイキとしていました。私も無理せず、自然体で取り組めたらいいと思います。(30代 女性)

ボランティア活動は人のためだけではなく、自分自身のための活動だということが分かりました。(70歳 女性)

♪親子ボランティア講座



お母さん上手に押せるかな



全員で体験の発表です

毎年、ボランティア活動に関心のある小学生とその保護者の親子を対象に開催しています。今年は7月26日(水)に開催し、7組15名の方に参加していただきました。

『ボランティアってなあに?』をテーマにお話を聞いて学んだ後、3組に分かれてボランティア体験を行っていただきました。

- ①車いす体験→車いすに乗ってリフト付自動車で豊中駅の福祉の店「なかま」に行き見学。
- ②点字・アイマスク体験→点字で名前を打ったり、アイマスクを付けて歩いたりしました。
- ③手話体験→簡単な手話を習った後、みんなで手話歌を歌いました。

最後は、全員が集合して報告会をし、他の体験の感想をみんなで共有することができました。

感想

- ・とてもたのしかった。気持ちよかった。(車いす体験)
- ・知識としては知っていたけれど、実際に体験すると全然違っていた。道路整備も是非すすめて欲しい。(車いす体験)
- ・アイマスクをしている時もきんちょうしたけど、こうたいしている時もきんちょうしました。てんじもむずかしかったけどできたのでうれしかったです！(点字・アイマスク体験)
- ・子どもと一緒にいい体験が出来ました。夏休みを利用して今日教えていただいた事をもう一歩すすめて体験してみたいと思います。(点字・アイマスク体験)
- ・たのしかった。(歌など)そんなに手話をするのが少なかったので知らない手話をたくさんおぼえた。
(手話体験)
- ・今後、耳の不自由な方と手話を使って少しでもコミュニケーションを取る助けになればと思います。
(手話体験)

♪サマーボランティアスクール

このスクールは、企業・団体ボランティアネットワークとよなかの主催で夏休みを利用し、『これからボランティアを始めたい、体験してみたい』という社会人や学生を対象に 7月8日(土)市立福祉会館で開催しました。

市社協職員よりボランティアの役割や心構えについてミニ講演を行い、その後、車いす体験等を行いました。初めて車いすを押した人も多く「少しの傾斜でも車いすが傾いてしまい、介助が難しかったです」などの感想があがっていました。最後に保育所や障害者作業所・老人デイサービスセンターの職員さんから、施設の概要説明やボランティア活動についての注意事項などの説明をしていただきました。



少しの段差も気をつけながら

「企業・団体ボランティアネットワークとよなか」とは…??

近年、企業・団体では社会貢献活動やボランティア活動に対する支援など、様々な取組みが進められています。市内でも活動は広まり、平成11年に大阪府内で初となるこのネットワークが結成されました。「V ネットとよなか」という通称で、現在では24社が加盟し企業同士の情報交換や学習会、啓発イベント開催等の取組みを行っています。



開会の挨拶ではみなさん緊張気味です

♪ボランティア体験プログラム

毎年7月～8月にかけて、大阪府ボランティア・市民活動センターと大阪府内の市町村社会福祉協議会との共催で実施しています。活動先は大阪府内の福祉施設や校区福祉委員会など全577プログラムで、豊中市では57施設が参加。203名の方がボランティア体験されました。



障害者福祉作業所「ゆうかりの家」に参加された方が調理実習されている様子です。

☆参加者の感想(一部抜粋)



「おひさま保育園」

藤末 祐太さん(高校生)・雅子さん(保護者)



ボランティア体験ができると決まってから、息子はその日を心待ちにしていました。障害を持つ息子にとっては、保育園で一緒に遊べるという程度の認識だったと思います。それでも一緒に遊びながら共に過ごす中で息子が役に立つ事、息子ができる仕事を見つけたいという思いで臨んだ2日間でした。

プールでの水かけ、給食の準備から片付けまで先生がマンツーマンでていねいに指導して下さい、やり終えた時には「やったあー！」とガッツポーズが出た程。達成感を味わえて、先生にほめていただき、自分も役に立つんだという自覚を持てた事は息子の大きな自信につながったと思います。息子に何ができるかを一生懸命考えて下さり、息子の力を引き出して下さって大変うれしかったです。今回、私は息子の付添いという事で参加させていただきましたが、先生方が子ども達のことを熱い思いで保育されているのを実感できました。1冊の絵本から創造力を膨らませ、プール遊びをされていた様子は、先生の子供達達の心を引きつける素晴らしいものを感じました。

全ての先生方が暖かく私達を迎えて下さり、このような体験が実現できたことを心から感謝申し上げます。そして、「お兄ちゃん」と慕ってくれた、なのはな組のみなさんありがとうございました。

「介護老人保健施設 きんもくせい」

中居 香織さん(高校生)



初めての体験でどうしていいのかわからず、なかなかお話することも出来ませんでした。でも、「おはようございます」の一言から少しずつ色々な事をさせていただきました。涙ぐみながら戦争のお話や、昔の苦労話など人生の先輩として語って下さる方もいました。知らない事ばかりですごく色々な事を教わって、考えさせられました。

手が不自由で足だけで車いすを進めていらっしゃる方、足が不自由でゆっくりゆっくり歩いていらっしゃる方、色々な方がいらっしゃいましたが、みなさん時間はかかるけど自分の力で前へ進んでおられました。すごく胸が熱くなりました。みなさん明るくて、お元気で、私もこんなおじいちゃん、おばあちゃんみたいになれたらなあと思いました。

この3日間は私にとって本当に大切な時間でした。自分の次の道をしっかり決めることができました。いつかスタッフとしてお手伝いできる日が来るよう頑張っていきたいと思います。これからもボランティアを通して、色々な方と出会い、成長していきたいです。

ボランティア体験学習 福祉教育研修会開催！

平成18年7月27日(木)、福祉会館にて「ボランティア体験学習・福祉教育研修会」が行われました。この研修会は、教職員の方々に福祉教育について学んでいただき、今後のあり方について考えていくことを目的に、昨年度より開催しています。今年度は、新しく採用された先生方の研修の一環として実施され、95名の先生方が参加されました。



★体験学習★

午前中は、6種類のボランティア体験の中から2種類を体験しました。真夏の太陽がぎらぎらと照りつける中、ボランティアさんも参加者も汗だくになりながら、充実した体験ができました。

ーインスタントシニア体験

装具をつけて町に出ました。

★シンポジウム★

午後からは、福祉教育に携わるさまざまな立場の方々にシンポジストとしてご参加いただき、現在の状況や福祉教育に対する思いなどを語っていただきました。

・シンポジスト

市社協登録ボランティアグループ「みちしるべ」
教育センター
泉丘校区福祉委員会
東豊台小学校

細谷正純さん
三上 洋さん
久野豊子さん
金森昭憲さん



★アンケートより★

- ・何か手助けを必要としている人に、そっと手を差し伸べられる人間でありたいと思う。また子どもたちにも同じような気持ちで助けることのできる人間になってほしいと思う。そのためには様々な人がいることや、どのようなサポートができるのかを共に考えていこうと思う。
- ・もっと自分の学校と地域のかかわりについて知り、今後世代間交流会などを検討したい。
- ・ボランティアや福祉というのは体験・経験しないと分からない事がたくさんあるので、子ども達に伝えたり共に経験したりしながら学んでいきたい。
- ・ボランティア体験や福祉教育は投げ入れではなく、年間の計画を立てて計画的に実行すべきものと再認識させられた。
- ・子どもたちの体験を地域や人々のために役立つ形で進めていこうと学んだことを活かしたい。
- ・「ボランティアは楽しんでするもの」というボランティアの方のお話を聞いて少し気が楽になった。

ボランティアは

私たち、施設でボランティア活動をしています！

市社協では、ボランティアグループに参加されてボランティア活動されている方と、個人で色々なボランティア活動をされている方がいらっやいます。今回は、個人で施設に行かれてボランティアされている方の中から3名のみなさんにお話をお伺いしました。

大石 八代子さん
(シルバーデイハウス寿)

シルバーデイハウス寿で、絵手紙のボランティアを始めて約3年です。毎月1回、皆さんと楽しく絵手紙描いています。季節の花や野菜、1年の色々な行事をハガキに描いてもらったり、おひな様をかまぼこ板や、石の上に和紙を貼って描いてもらいました。昨年の夏には、庄内公民館で初めて作品展をして皆さんに喜んでもらいました。皆さんが、楽しく絵を描いている姿を見ると、私もやりがいを感じます。



平川 美智子さん (特養 ふるる)
フラワーアレンジメントで、四季おりおりの多彩な花々を前にホームの方々(女性 12名)の顔がほころびます。
「わあ きれい」「この花なつかしいわ」と、毎回楽しみにされています。声かけしながら握力が弱っている方にはお好みの長さに切り、オアシスに差し込むお手伝いをさせてもらいます。各自アレンジされた花を講師から、「お上手ですね 素晴らしいですよ」と賞賛を受け笑顔でピース！第3金曜日 14時から1時間余り心と和らぐボランティアのひとつです。



「福祉作業所のあれこれ」

山中 吉次さん (福祉作業所)

お陰様で大阪転勤 28 年間の感謝と謝恩の気持ちでボランティアをさせていただいております。平成 13 年 5 月 12 日に社協からの紹介にて福祉作業所でのボランティア活動がスタートしました。

最初の 1 回目は戸惑いでしたが、2 回目からはなんとなくメンバー(利用者)とも打ち解けることができ、私でも作業所でのボランティアができると思い現在に至っています。各作業所ともメンバーと同年代の青年男女が働いており、メンバーさん達とは朝から夕方まで、にぎやかに、また大変な苦勞をしながら作業所等をして過ごしています。

ボランティア先での作業は、コースター作り、旅行スーツケース掃除、牛乳パック利用の椅子作り、藍染め絞り、ミニ広告紙配布(車と自転車移動)、飴作り、パンやクッキーの注文と配達、公園掃除、なかまの店での販売を行なっています。屋外での作業では、夏は暑く、冬は寒い中で皆さん元気に働いています。

職員もメンバー(利用者)と同年齢の若い方が多くにぎやかに 1 日を過ごしていますが、各作業所ではスタッフや家族の方や地域の方(社協含む)が苦勞をしているのを見るにつけ、これからは僅かな日数ですがボランティアを続けていく予定ですのでよろしくご指導願います。

ボランティアは

私たち、施設でボランティア活動をしています！

市社協では、ボランティアグループに参加されてボランティア活動されている方と、個人で色々なボランティア活動をされている方がいらっやいます。今回は、個人で施設に行かれてボランティアされている方の中から3名のみなさんにお話をお伺いしました。

大石 八代子さん

(シルバーデイハウス寿)

シルバーデイハウス寿で、絵手紙のボランティアを始めて約3年です。毎月1回、皆さんと楽しく絵手紙描いています。季節の花や野菜、1年の色々な行事をハガキに描いてもらったり、おひな様をかまぼこ板や、石の上に和紙を貼って描いてもらいました。昨年の夏には、庄内公民館で初めて作品展をして皆さんに喜んでもらいました。皆さんが、楽しく絵を描いている姿を見ると、私もやりがいを感じます。



平川 美智子さん (特養 ふるる)

フラワーアレンジメントで、四季おりおりの多彩な花々を前にホームの方々(女性 12名)のお顔がほころびます。

「わあ きれい」「この花なつかしいわ」と、毎回楽しみにされています。声かけしながら握力が弱っている方にはお好みの長さに切り、オアシスに差し込むお手伝いをさせてもらいます。各自アレンジされた花を講師から、「お上手ですね 素晴らしいですよ」と賞賛を受け笑顔でピース！第3金曜日 14時から1時間余り心とらぐボランティアのひとつです。



「福祉作業所のあれこれ」

山中 吉次さん (福祉作業所)

お陰様で大阪転勤 28 年間の感謝と謝恩の気持ちでボランティアをさせていただいております。平成 13 年 5 月 12 日に社協からの紹介にて福祉作業所でのボランティア活動がスタートしました。

最初の 1 回目は戸惑いでしたが、2 回目からはなんとなくメンバー(利用者)とも打ち解けることができ、私でも作業所でのボランティアができると思い現在に至っています。各作業所ともメンバーと同年代の青年男女が働いており、メンバーさん達とは朝から夕方まで、にぎやかに、また大変な苦勞をしながら作業所等をして過ごしています。

ボランティア先での作業は、コースター作り、旅行スーツケース掃除、牛乳パック利用の椅子作り、藍染め絞り、ミニ広告紙配布(車と自転車移動)、飴作り、パンやクッキーの注文と配達、公園掃除、なかまの店での販売を行なっています。屋外での作業では、夏は暑く、冬は寒い中で皆さん元気に働いています。

職員もメンバー(利用者)と同年齢の若い方が多くにぎやかに 1 日を過ごしていますが、各作業所ではスタッフや家族の方や地域の方(社協含む)が苦勞をしているのを見るにつけ、これからは僅かな日数ですがボランティアを続けていく予定ですのでよろしくご指導願います。

豊能地区3市2町合同防災訓練



図上訓練の様子(会場全体)

8月25日(金)、市立豊島体育館にて豊能地区3市2町(豊中市、池田市、箕面市、豊能町、能勢町)合同防災訓練が実施されました。

この訓練は大規模地震(上町断層系)により、大阪府内市町村の地域に甚大な被害が発生したことを想定し、各市町の災害対策本部設置から運用までを、図上訓練を通じて実践し、豊能地区3市2町並びに各防災関係機関の災害対応と連携強化を図ることを目的に実施されました。

当日は、会場が体育館ということもあり、かなり蒸し暑い中、災害支援ネットワークのボランティアが図上訓練の様子を見学しました。

『豊能地区3市2町合同防災訓練を見学して』
市社協登録ボランティアグループ「豊中アッシー」

和気 一也さん

図上訓練は、3市2町間でも過去何回か体験をした所と全く初めての所ではその対応や進め方に明らかな温度差がある。広域での綿密な連携が必死の災害発生時には、今回のシミュレーションの経験を生かし、各防災関係機関の災害対応と連携強化を図って欲しいと切望する。

たまたま、豊中市は集中豪雨による災害発生直後であり、特にこのような広域の合同防災訓練の必要性を痛感した。

韓国からのお客様



4月20日ボランティア活動推進センター「ぷらっと」に韓国からの視察団の方々が14名来られました。韓国でも社会福祉協議会やボランティアセンターを作る為に見学に来られたとのこと。市社協の8カ国語パンフレット韓国語版を使って説明させていただいたり、通訳さんを通じて交流することができました。

☺バザー用品の提供にご協力ください☺

11月3日(祝・金)11時～15時に千里ライフサイエンスセンター1階で行われます、ヒューマンバザーに提供していただける品物を募集しています。

☆受付期間:10月11日(水)～27日(金)の土・日を除く10時～17時15分まで

☆受付場所・お問い合わせ:

ボランティア活動推進センター「ぷらっと」

※古着や賞味期限の過ぎた食料品はご遠慮ください。



募金のお礼



<ジャワ島地震 支援募金>

ジャワ島地震災害における義援金として、募金箱を6月8日～6月28日の間、福祉会館・ボランティア活動推進センター「ぷらっと」・福祉の店「なかま」に設置しました。たくさんの皆様のご協力で、73,796円集まり、豊中地区募金会・日本赤十字社大阪府支部豊中市地区を通じ被災者への救援金として使われました。

また、この内の20,013円は、『ちょボラサロン「えがお」』のメンバーの方々が、岡町駅前で行った街頭募金によるものです。

みなさまの温かいご支援・ご協力どうもありがとうございました。



今後の予定

★こころのボランティア講座

10月23日(月)・10月30日(月)のいずれも10時～12時、場所:市立福祉会館

★ヒューマンバザー

11月3日(祝・金) ※詳細は上記参照

★年賀状ボランティア

11月10日(金)、14日(火)、21日(火)、24日(金)、29日(水)、12月1日(金)
いずれも13時半～17時、場所:市立福祉会館

★ボランティアはじめま専科

- ・11月24日(金)13時半～15時:外出支援グループ「みちしるべ」
 - ・11月30日(木)10時～12時:友愛電話訪問ボランティアグループ「聴くの会」
 - ・12月12日(火)10時～12時:福祉ビデオ制作グループ「ズームイン」
- いずれも場所は、ボランティア活動推進センター「ぷらっと」

平成19年

★ボランティア新年の集い:1月予定

★第14回ボランティアフェスティバル:2月11日(日)



編集後記



先日、報道で見た老老介護の痛ましい話題。89歳の脳梗塞後遺症の夫が認知症の85歳妻を殺害して無理心中したという。夫は「老妻の介護に疲れて」と遺書を残していたそうだ。同居する家族、それに多くの介護関係者、ボランティアがいるという中で、なんとも痛ましい。気の毒な人への心のこもったケアが本当にやっているのか、介護がうわべだけになっていないか、なにか考えさせられる現実だ。

(アクセス M.Y)